

公益社団法人日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部
令和元年度 第2回代議員会次第

日 時 : 令和元年8月4日(日) 12:00~13:00

場 所 : 日本歯科大学生命歯学部 7階 171講堂

1. 開会の辞 塩田 真 副支部長
2. 支部長挨拶 井汲 憲治 支部長
3. 議長選出: 代居 敬先生 片山幸太郎先生
4. 議事録署名人選出
5. 確認事項
 - ① 指名点呼: 小田 茂 総務委員長
 - ② 関東・甲信越支部 令和元年度 第1回代議員会議事録(資料1)
6. 報告事項
 - ① 日本口腔インプラント学会 本会現況報告
井汲 憲治理事, 大久保力廣理事, 田中譲治理事, 矢島 安朝理事, 築瀬 武史理事, 塩田 真専務理事, 宮崎 隆理事長
 - ② 第10回支部学術シンポジウム開催報告 田中 譲治 大会長
 - ③ 第39回関東・甲信越支部学術大会進捗状況 渡邊 文彦 大会長
 - ④ 第11回支部学術シンポジウム準備状況 小倉 晋 大会長
 - ⑤ 第50回記念学術大会準備状況 井汲 憲治 大会長
 - ⑥ 支部代議員等の選定について 小森規雄 選挙管理委員長
 - ⑦ その他
7. 審議事項
 - ① 第41回(2021年度)支部学術大会の開催について 尾関 雅彦 学術委員長
 - ② その他
8. 閉会の辞 奥森 直人 副支部長

公益社団法人日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部
2019年度 第1回代議員会議事録(案)

日 時 : 2019年4月21日(日) 13:30~14:30
場 所 : 東京グランドホテル 桜の間
参加者 : 98名
(出席者 61名)
(委任状提出者 37名)
(オブザーバー 2名)

1. 開会の辞 塩田 真 副支部長より開会の挨拶がなされた
2. 支部長挨拶 井汲 憲治 支部長より挨拶がなされた。
3. 指名点呼: 小田 茂総務委員長より代議員 107名のうち、出席者 61名、委任状提出者 37名、計 98名の過半数となり代議員会が成立することが報告された。
4. 議長選出 執行部一任により片山幸太郎議長、井上 達副議長が選出された。
5. 議事録署名人選出 議長一任となり、上田 一彦先生、竹島 明道先生が選出された。
6. 確認事項
小田 茂総務委員長より関東・甲信越支部 平成 30 年度 第 2 回代議員会議事録

(資料1) について確認された。

7. 報告事項

① 日本口腔インプラント学会 本会現況報告

塩田 真専務理事より

3月14日に報道された国民生活センターによる発表内容について、事前に学会に情報提供があり、若干内容の調整を行ったこと、発表当日は会員へのメールでの周知、ホームページに声明文を掲載した。その後、声明文に対して歯科医学連合より修正依頼が入り、語句の修正を行った。

広告可能専門医に関して、従来からの厚労省へのアプローチ、専門医機構へのアプローチの両面で粛々と進めていること、顎顔面インプラント学会と歩調を合わせて進めていくことが大前提となっていること、専門医協議会は休会状態で専門医機構に移そうという動きがあること、

会員証について、磁気式カードの磁気劣化による不具合が相次いで起こっているため、第49回学術大会より2次元バーコード(QRコード)での確認体制に移行を予定していること

メールマガジンを2か月に1回の頻度で発行していることが報告された。

築瀬 武史 理事/認定委員長より

ケースプレゼンテーション試験について、今年度より症例は上部構造装着後2年以上で受験可能となったこと

今年度より学術大会時のポスター発表から専門医指導医試験と同一日に実施となり、財政的負担も軽減され、また受験者が参考資料も持参出来るようになった。事前の準備は認定委員会、試験委員会合同で実施し、試験当日は、試験委員会の責任下で実施している。試験官の先生方には、指導医、専門医、専修医それぞれのレベルにあった質問をしていただくようお願いしていること、受験者には事前レクチャーも行っていること

今年度の代議員会の前日に各施設2名まで参加可能な施設長会議を予定しており、その際に各施設のカリキュラムの作成と評価等に関する情報提供が行われる。その後17時より懇親会があり、また今年度より日当も5000円/人だされることとなったので、ぜひ参加してほしいこと

顎顔面インプラント学会との共通研修が計画されていることが報告された。

矢島 安朝 理事/学術委員長より

第49回学術大会の演題募集中のため、各研修施設から多くの演題を出していただきたいことが報告された。

井汲 憲治 理事/総務委員長より

2018年6月より戦略会議が開催されており、up to date な時代に沿った長期的な戦略を検討していること、その一環として学会の診療ガイドラインの作成が決定し、研究推進委員会へ依頼済みであることが報告された。

- ② 第9回支部学術シンポジウム開催報告が築瀬 武史 大会長よりなされ、417名の参加があり盛会に終わった旨報告がなされた。
- ③ 第38回関東・甲信越支部学術大会開催報告が矢島 安朝 大会長よりなされ、演題数70、1353名の参加があり盛会に終わった旨報告がなされた
- ④ 第10回支部学術シンポジウム準備状況が、熱田 互実行委員長よりなされ、2019年8月4日（日曜）に日本歯科大学富士見ホールにて9時半—17時に開催すること、350名の参加見込み、企業展示も順調に申し込まれていることが報告された。すでに参加申し込みが可能となっているのでぜひ参加いただきたい旨報告がなされた。
- ⑤ 第39回関東・甲信越支部学術大会進捗状況について、廣安 一彦実行委員長より報告がなされ、2020年2月15-16日に新潟の朱鷺メッセにて「口腔インプラント治療の今と将来」—インプラントロジストが拓く未来—をメインテーマに特別講演2題、シンポジウム4題、専門医教育講座、DH体験セミナー、ランチョンセミナー（2日間で計6社）、懇親会を予定している。演題登録期間7月1日—10月31日、事前登録期間8月1日—12月20日であり、多くの先生の参加をお願いしたい旨、報告がなされた。
- ⑥ 第50回記念学術大会準備状況について、井汲 憲治 大会長より報告がなされ、2020年9月18-20日に開催すること、第1日目は全国の研修施設の代表が60演題を出しテーマごとの議論を予定していること、専門医教育講座は1日目と2日目に分けて2回実施すること、特別講演も国内外より著名な先生方にご登壇を予定しており、多くの方に参加いただきたい旨が報告された。
- ⑦ その他として、小森選挙管理委員長より先日開催された中央選管と支部選管との協議に関する報告がなされ、中央から支部に対して、選出区分1,2に関して、1：大学系、2：一般臨床、DH、DT、その他となっているが、総合病院所属の方は2に入れるように、また、「大学所属」をどのように線引くのかについては、2019.4.1時点での「主たる勤務先」の情報に基づき決定するように（ただ

し未確定な部分もあり)、得票数などの選挙結果の詳細を開示するように指示があった

一方、支部から中央に対しての質問として、関東の現在の代議員決定方法(研修施設ごとに人数を割り振り)については問題ない、大学系:臨床系=1:1については弾力的に考えてよい、各研修施設から1名以上選出という方法に関しても問題ない、各県最低1名選出に関しては努力義務で良いとの返答を得たことが報告された。

また、支部選管からは、任期中に所属施設が変更となった場合は、遅滞なく事務局に届け出てほしいことが伝えられた。

追加として、中央選管より大田 善秋委員より、2年の任期の中で代議員会に最低1回は必ず出席いただくように連絡がなされた。

質疑応答として、本役員・各種委員会委員、代議員のリストや議事録などがホームページ上に公開されておらず、何とかしてほしいとの訴えがあり、井汲 憲治支部長より今後検討していく旨回答がなされた。

8. 審議事項

- ① 平成30年度事業報告書(案)について、資料2に基づき井汲 憲治 支部長より説明がなされ、協議の結果承認された。
- ② 平成30年度決算書(案)について、資料3に基づき樋口 大輔 財務委員長より説明が、渡沼監事より監査報告がなされ、協議の結果承認された
- ③ 第11回支部学術シンポジウムの開催について、尾関 雅彦 学術委員長より日本歯科大学 小倉 晋先生に大会長をお願いしたい旨提案がなされ、協議の結果承認された。
- ④ その他

9. 閉会の辞 奥森 直人 副支部長より閉会の挨拶がなされた。

議事録署名人

上田 一孝



上田 一孝

